

町議会
9月
定例会

平成11年度一般会計補正予算可決 平成10年度水道事業会計決算認定

横越町議会9月定例会が、9月21日から24日の4日間の会期で開催されました。

初日には、一般質問に7名の議員が立ち、阿賀用水路改修計画に伴う雨水排水や市町村合併、障害者福祉、少子化対策、地域情報化などについて町長に質問しました。

続いて、平成11年度一般会計補正予算や平成11年度老人保健特別会計補正予算、横越町税条例の一部改正、横越町督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正、町道路線の認定などの議案が可決されました。22日には、付託された議案について各委員

会で審議され、24日には、委員会で審議された横越町住居表示条例の制定と平成10年度横越町水道事業会計決算が可決、認定されました。

平成11年度一般会計補正予算(第2号)

補正のおもなものは、農村環境改善センター前広場整備3、895万円、老人保護措置費2、208万円、県道新潟港横越線歩道照明設置2、000万円、デイサービス業務委託料1、133万円、双葉保育園施設整備改修600万円、バス停設置・

児童公園遊具設置530万円などを追加、中学校テニスコート設置工事250万円、農業委員選挙費248万円、町長・町議会議員選挙費112万円などを減額しました。

平成10年度横越町水道事業会計決算

人権擁護委員の推薦について
小木光興氏(71歳 横越中)

ご厚志に感謝

町に次の方々よりご寄付がありました。

8月23日にご逝去された前助役佐藤昭衛さんのご遺族佐藤ヨシイさんより、社会福祉に役立ててほしいと20万円、(南横山寝具店様(会長 横山重次さん)より、敬老会開催の記念品として座布団50枚。
大変ありがとうございました。

横越町教育長 川島泰郎氏 退任



9月20日をもって、本町教育長の川島泰郎氏(66)が任期満了により退任されました。

川島氏は、平成4年4月から6年3月まで横越小学校の校長として、平成7年9月から町教育委員、同年10月から教育長として町の教育の振興に尽力されました。

10月1日付
総務課長 江口禎二(町民生活課長)、町民税課長 加藤藤雄(農政商工課長)、町民

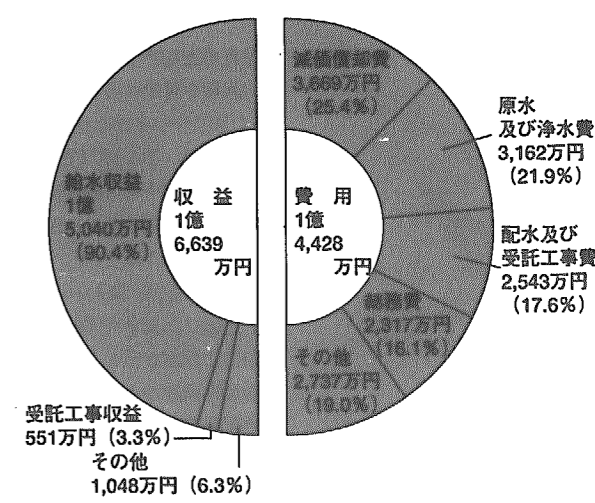
役場人事異動

10月1日付
総務課長 江口禎二(町民生活課長)、町民税課長 加藤藤雄(農政商工課長)、町民

本町における水の使用量は、下水道事業の普及や生活様式の向上により、わずかではありませんが、増加傾向にあります。平成10年度も石綿管の改修や配水管の布設替え等の工事を行い、安全でおいしい水の安定供給に努めてきたほか、町内5箇所消防栓を設置しました。

その結果、浄水費や工事費、減価償却費、起債の利子等の水道事業費用は1億4,428万円を要しましたが、収入は、給水収益や受託工事費等で1億6,639万円となり、前年度繰越利益300万円を加えると、2,511万円の黒字決算となりました。

平成10年度 水道事業会計決算



ごみにしないでリサイクル! 10月は「リサイクル推進月間」です

わたしたちは、日常生活の中で様々なごみを排出しながら生活しています。現在のような状態でごみがどんどん増えていくと、ごみの最終処分場が数年でいっぱいになって、処分する場所がなくなってしまう。また、ごみの焼却には、大量の二酸化炭素による地球温暖化

や、ダイオキシンなどの有害ガスの発生による環境汚染の心配もあります。こうした環境への悪影響を考えると、ごみ問題の解決には、リサイクルによって「ごみの量を減らす」こと以外にありません。リサイクルはごみを減らすだけでなく、原材料からつくるよ

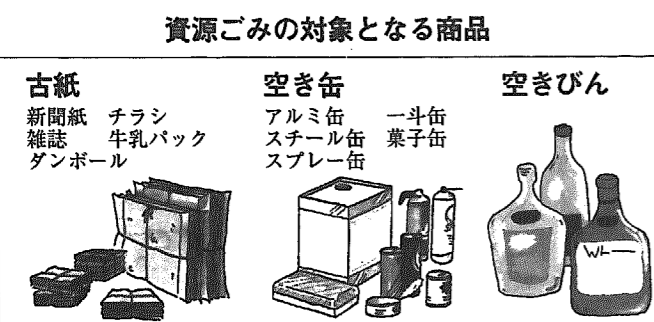
資源ごみの出し方

◎空きびん
中身を捨て、軽く水洗いをし、収集ステーションの空きびんのコンテナに入れてください。びんのフタは取って、金属性のフタは燃えないごみ、その他のフタは燃えるごみに出してください。

◎古紙
種類別(新聞紙、ダンボール、灯油のタンク、スチール製のごみ箱などは、出さないでください。

◎注意
燃えるごみ、燃えないごみの日に、資源ごみを出さないでください。また、資源ごみの日に、燃えるごみ、燃えないごみを出さないでください。

活動を支えます
集団資源回収
町では、婦人会や子供会などの実施する集団資源回収に対し、奨励金を交付し、その活動を支援しています。



◎空き缶
中身を捨て、軽く水洗いをし、空き缶のコンテナに入れてください。



ごみ出しのルールが守られていないごみは収集しませんので、ごみの種類、収集日をきちんと

▼問い合わせ
町民生活課
385-2111